



東地中海地域ニュース

イスラエル：麻生外相のパレスチナ自治区訪問

(8月16日付現地報道)

1. 「ハアレツ」紙報道

- (1) 8月15日、ジェリコにてリブニ・イスラエル外相、麻生外相、ハティープ・ヨルダン外相、エラカート PLO 交渉局長の間で四者協議が開催された。同会合は「平和と繁栄の回廊」と呼ばれるイスラエル、PA、ヨルダン間の農産業上の協同をより進展させるためのイニシアティブに焦点を当てている。
- (2) リブニ外相は、「経済トラックでの取組みは、PA との外交対話の代価ではない。イスラエルは、外交プロセスを創造し、出来る限り広範な原則に基づき、パレスチナとの合意に達する責任がある」と述べた。一方、エラカート PLO 交渉局長は、「我々が暴力と占領に時間を浪費しなければ、経済回廊プロジェクトは現実がどのようなものかを示さるう」と述べた。
- (3) 数ヶ月前に着手された同構想は、経済的展望の一つの基礎となりうる。ジェリコの産物はヨルダン経由で市場に出され、マーケティング設備は、ヨルダン川上のアダム橋（ダミヤ橋）の改修及びヨルダン側での新空港建設に加え創設される予定である。更なる協議とタイムテーブル設定のために、各側から専門家代表団が10月にジェリコを訪問する。プロジェクトの設備建設に向けた最善の場所を決定するため、地質学者及び環境学者の代表団が数週間以内に会合を持つ予定である。

2. 「エルサレム・ポスト」紙

- (1) ラマツラでの会合に引き続き、麻生外相はリブニ外相、エラカート PLO 交渉局長及びハティープ・ヨルダン外相と協同経済プロジェクトを協議するためにジェリコに赴いた。多分に象徴的であり、実質を欠いた同会合では、閣僚達はプロジェクトを前進させるために10月に専門家会合を開催することで合意した。日本の提案した計画は、ヨルダン渓谷沿いにヨルダンの集配センターからアラブ諸国に発送される産品用の農産業団地を建設するものである。
- (2) リブニ外相は、「同農産業団地は、他に依存せずに自立したパレスチナ経済の発展に寄与するものである。同計画は、潜在的にアラブ世界の中で PA に対する大きな市場を開く可能性がある」と述べた。一方、エラカート交渉局長は、会合後、報道陣に対して「(同プロジェクトは) 二国家解決策を導く両者間の重要な和平プロセスの代替ではない」と述べた。